

平成 27 年 6 月 12 日

各 位

会 社 名 フ リ ー ビ ッ ト 株 式 会 社
 (コード番号 3843 : 東証マザーズ)
 本 社 所 在 地 東 京 都 澁 谷 区 円 山 町 3 番 6 号
 代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 田 中 伸 明
 問 合 せ 先 グ ル ー プ 経 営 管 理 本 部 長 和 田 育 子
 電 話 番 号 0 3 - 5 4 5 9 - 0 5 2 2 (代 表)
 (URL <http://www.freebit.com>)

特別利益の計上及び通期業績予想との差異に関するお知らせ

平成 26 年 6 月 13 日に公表した平成 27 年 4 月期 (平成 26 年 5 月 1 日～平成 27 年 4 月 30 日) の連結業績予想と実績との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 4 月期通期連結業績予想数値と実績の差異 (平成 26 年 5 月 1 日～平成 27 年 4 月 30 日)

	連 結 売 上 高	連 結 営 業 利 益	連 結 経 常 利 益	連 結 当 期 純 利 益	1 株 当 たり 連 結 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	23,000	1,500	1,350	600	30.70
通期連結実績 (B)	21,469	1,244	982	1,025	51.04
増 減 額 (B - A)	△1,530	△255	△367	425	
増 減 率 (%)	△6.7	△17.0	△27.2	71.0	
(参考) 前期連結実績 (平成 26 年 4 月期)	20,665	1,320	1,219	235	12.06

2. 差異の理由

〔連結売上高〕

これからの当社グループの成長ドライバーと位置付けているモバイル事業やクラウド事業、アドテクノロジー事業が堅調に推移し、また固定回線網サービス市場が成熟化する中でもマンションインターネットサービスの提供先が増加するなど、ブロードバンド事業も順調に進展した結果、前期を上回る売上高を達成いたしました。但し、モバイル事業のうち、freebit mobile事業については、今後の更なる発展に向けたビジネスモデル再構築のための準備期間を設けて販促活動の抑制等を講じたこと、そして、同事業をトーンモバイル株式会社 (以下、「トーンモバイル」) としてカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社 (以下、「CCC」) との合弁会社としたことで、当社の持分法適用会社となったため、売上高が予想を下回る結果となりました。

〔連結営業利益、連結経常利益〕

平成 27 年 2 月 18 日公表の『フリービット TSUTAYA/Tポイントを展開するカルチュア・コンビニエンス・クラブとのモバイル事業における戦略的資本・業務提携を発表』で、freebit mobile事業の「フランチャ

イズプログラムマスターライセンス」をCCCグループに譲渡することをお知らせいたしましたが、それに伴う収益 400 百万円を、売上ではなく特別利益に計上することとなったため、営業利益、経常利益が予想を下回る結果となりました。

なお、トーンモバイルは、TSUTAYA店舗網やTポイントプログラムといったCCCの運営する顧客基盤プラットフォームを活かした事業の推進を行っていくことで事業の飛躍的拡大が見込めるとともに、当社の持分法適用会社となったことで、将来の投資コストの軽減を図ることができます。

〔連結当期純利益〕

当社連結子会社である株式会社ドリーム・トレイン・インターネットが、同じく当社連結子会社であるフリービットクラウド株式会社を吸収合併したことに伴う法人税等調整額を計上したこと、そして、ビジネスモデルの再構築により、CCCグループに「フランチャイズプログラムマスターライセンス」を譲渡したことに伴い事業譲渡益 400 百万円を特別利益に計上したことなどにより、当期純利益は大幅に予想を上回ることとなりました。

以上